

2009 年度後期 北海道大学大学院共通授業科目  
スラブ・ユーラシア学Ⅱ  
多元的世界を理解する方法としてのイスラーム地域研究

期間： 1月29日（金）、2月1日（月）、2月2日（火）

場所：スラブ研究センターセミナー室1(404)

講師の先生方より、事前の準備について連絡がありましたので、お知らせします。

**全般**

本講義で出てくる用語を手早く調べるには、以下を参照。

大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2002年。

小松久男他編『中央ユーラシアを知る事典』平凡社、2005年。

さらに読書を進めたい方は、以下の文献を参照。

小杉泰他編『イスラーム世界研究マニュアル』名古屋大学出版会、2008年。

**各講義に備えるために**

1月29日（金）イスラーム世界の中のキリスト教、キリスト教世界の中のイスラーム

9:30-12:00 太田敬子 中東イスラーム社会におけるキリスト教徒

以下の文献のいずれかを参照しておく、より理解し易いと思われる。

矢島文夫編『民俗の世界史 11 アフロアジアの民族と文化』山川出版社、1991。

森安達也『世界宗教史叢書 11 キリスト教史 III』山川出版社、1978。

中東教会協議会編『中東キリスト教の歴史』日本基督教団出版局、1993。

13:00-15:30 長縄宣博 ロシア帝国のイスラーム教徒

以下の文献で、ロシア史の流れとイスラーム教徒の状況を整理しておくとい。

田中陽兒他編、『世界歴史体系 ロシア史』山川出版社、1994年、第2巻。

小松久男『イブラヒム、日本への旅：ロシア・オスマン帝国・日本』刀水書房、2008年。

山内昌之『スルタンガリエフの夢：イスラーム世界とロシア革命』岩波現代文庫、2009年、第1章。

2月1日（月）イスラーム教徒のネットワーク

9:30-12:00 守川知子 イスラームの巡礼と近代

以下の文献を参照しておくことが望ましい。

坂本勉『イスラーム巡礼』岩波新書、2000年。（1月29日の長縄の講義でも参照しておく  
よい）

守川知子『シーア派聖地参詣の研究』京都大学学術出版会、2007年。

#### 13:00-15:30 山根聡 越境するターリバーン

パキスタンやターリバーンに関する基本情報として、以下を紹介する。

アハメド・ラシッド(坂井定雄、伊藤力司訳『タリバン』講談社、2000年

板垣雄三(編)『対テロ戦争とイスラム世界』岩波新書、2002年。

前田耕作、山根聡『アフガニスタン史』河出書房新社、2002年。

黒崎卓、子島進、山根聡(編)『現代パキスタン分析』岩波書店、2004年。

進藤雄介『タリバンの復活』花伝社、2008年。

#### 2月2日(火) イスラーム原理主義とは何か

##### 9:30-12:00 宇山智彦 中央アジアの「原理主義」

中央アジアにおけるヒズブッタフリール（解放党。Hizb ut-Tahrir, Хизб ут-Тахрир）お  
よびアクラミーヤ（Акрамија, Акрамия または Акрамија, Акрамия）の活動についてイン  
ターネットで検索し、できるだけ多くの論説・情報を読んでおくこと。

また、次の文献に目を通しておくことが望ましい。

B.ババジャノフ「ソ連解体後の中央アジア」小松久男ほか編『現代イスラーム思想と政治運  
動（イスラーム地域研究叢書2）』東京大学出版会、2003年。

問い合わせ：スラブ研究センター 長縄宣博 [luch@slav.hokudai.ac.jp](mailto:luch@slav.hokudai.ac.jp) 内線 3790

スラブ・ユーラシア学Ⅱ

**多元的世界を理解する方法と  
してのイスラーム地域研究**

授業趣旨：近年、スラブ・ユーラシア世界は、イスラーム社会とその周辺についても、豊かな思考の糧を我々に提供しています。本講義では、ユーラシア大陸の他のイスラーム教徒の動態を追い続けている専門家もお招きして、イスラーム地域研究の最前線を分かりやすく説明します。本学の大学院に所属する学生なら誰でも履修可能です。

期間：2010年1月29日（金）、2月1日（月）、2月2日（火）

（変更がありましたのでご注意ください）授業日程は下記の通り

場所：スラブ研究センターセミナー室1（404）

**1月29日（金） イスラーム世界の中のキリスト教、キリスト教世界の中のイスラーム**

9:30-12:00 太田敬子 中東イスラーム社会におけるキリスト教徒  
13:00- 15:30 長縄宣博 ロシア帝国のイスラーム教徒  
15:45- 17:00 質疑応答・討論

**2月1日（月） イスラーム教徒のネットワーク**

9:30-12:00 守川知子 イスラームの巡礼と近代  
13:00- 15:30 山根聡 越境するターリバーン  
15:45- 17:00 質疑応答・討論

**2月2日（火） イスラーム原理主義とは何か**

9:30-12:00 宇山智彦 中央アジアの「原理主義」  
13:00- 14:30 質疑応答・総合討論

\* テクスト・参考書は授業に先立って掲示等の方法で周知し、講義中に資料を補充します。

受講申請：すでに履修登録の時期は過ぎていますので、未登録で単位の必要な方は、ご所属の研究科・学院の教務担当とご相談の上で、登録してください。

問い合わせ：スラブ研究センター 長縄宣博 luch@slav.hokudai.ac.jp 内線3790